

2017年12月期 決算説明



内外トランスライン株式会社
International Freight Forwarder

東証一部 9384

1. 決算概要
2. グループ別
3. 2018年通期計画等

1. 決算概要

連結業績概要

連結損益計算書

- 単体の主力輸出混載輸送の取扱量が増加傾向にあり、国内子会社2社と海外子会社内外銀山口ジステイクスの業績が貢献し、売上高8.7%、営業利益14.6%の増収増益

連結貸借対照表

- 現金及び預金の増加により、流動資産は6.7億円増加し、総資産は7.1億円増加の101億円
- 利益剰余金及び為替換算調整勘定の増加により株主資本は9億円増加の71億円となり、自己資本比率は前期末比5.6ポイント上昇の74.2%

連結キャッシュ・フロー計算書

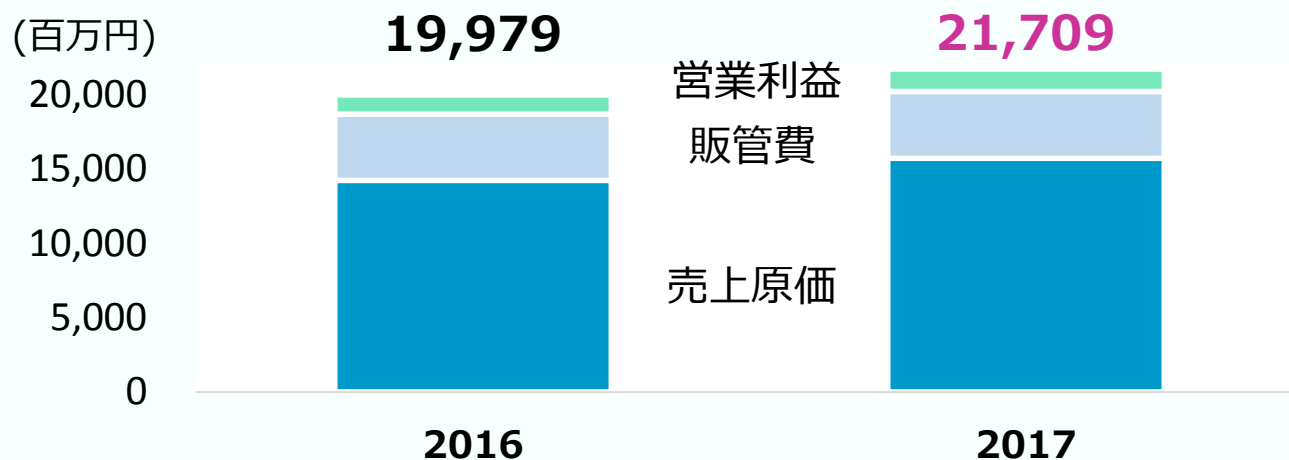
- 当期純利益を中心に営業C/Fは13.3億円
- 投資有価証券売却収入と有形固定資産の取得による支出等で投資C/Fは0億円
- 長期借入金の返済と配当金の支払により財務C/Fは△8.1億円
- 結果、現金及び現金同等物の期末残高は6億円増加し、51.0億円

連結業績

単位:百万円	2017	2016	対前年 増減率(%)	2017 期初計画	対計画 増減率(%)
売上高	21,709	19,979	8.7	21,500	1.0
営業利益	1,500	1,309	14.6	1,500	0.0
経常利益	1,588	1,333	19.1	1,500	5.9
親会社株主帰属 当期純利益	1,192	438	171.8	1,100	8.4
為替レート(USD)	112.17	108.81	3.36	108.00	4.17

(為替レートの増減は円の変動幅)

連結営業利益の概要



単位:百万円	2016	対売上構成比	2017	対売上構成比
売上高	19,979	100.0%	21,709	100.0%
売上総利益	5,744	28.8%	5,989	27.6%
販管費	4,435	22.2%	4,489	20.7%
営業利益	1,309	6.6%	1500	6.9%

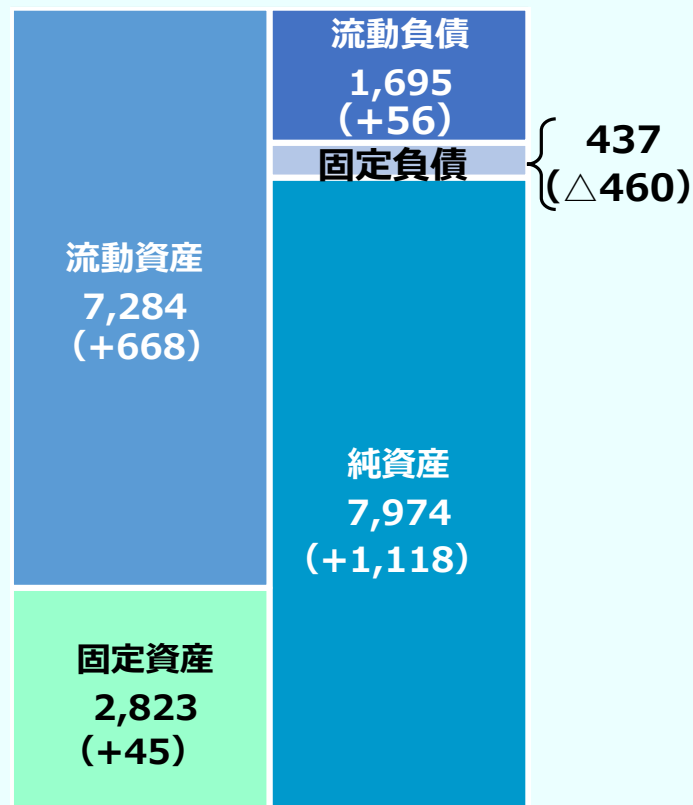
連結貸借対照表の概要(前期末比)

《主な変動要因》

流動資産
・ 現金及び預金
+604

固定資産
・ 建物及び構築物 +73
・ のれん △24

総資産 (+ 714)



自己資本比率 74.2%

単位：百万円 () 内は前期末比増減

《主な変動要因》

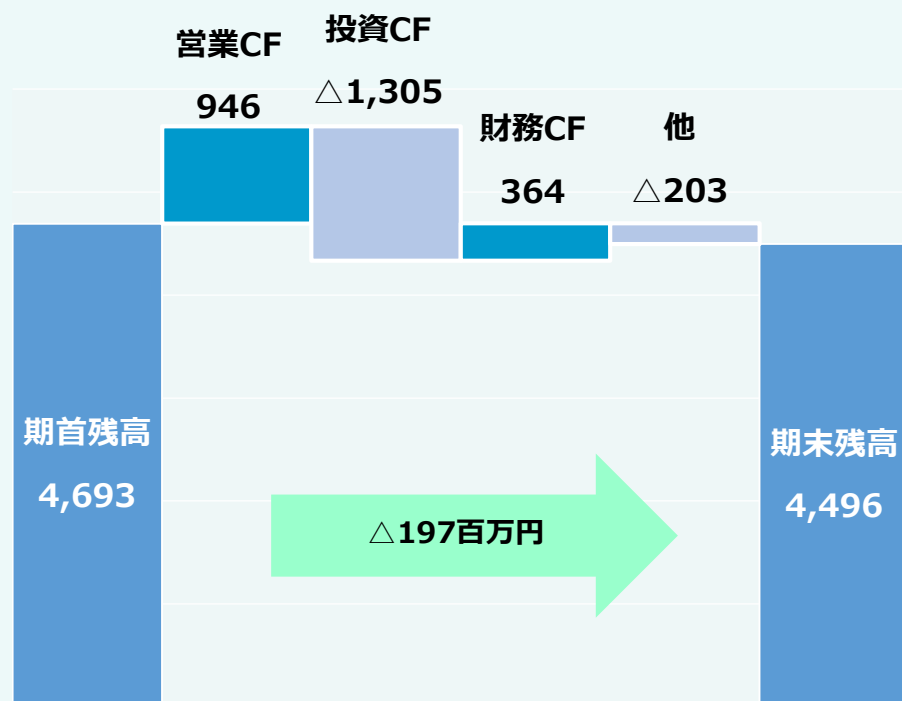
流動負債
・ 買掛金 +73
固定負債
・ 長期借入金 △500

純資産
・ 利益剰余金 +901
・ 為替換算調整勘定 +149

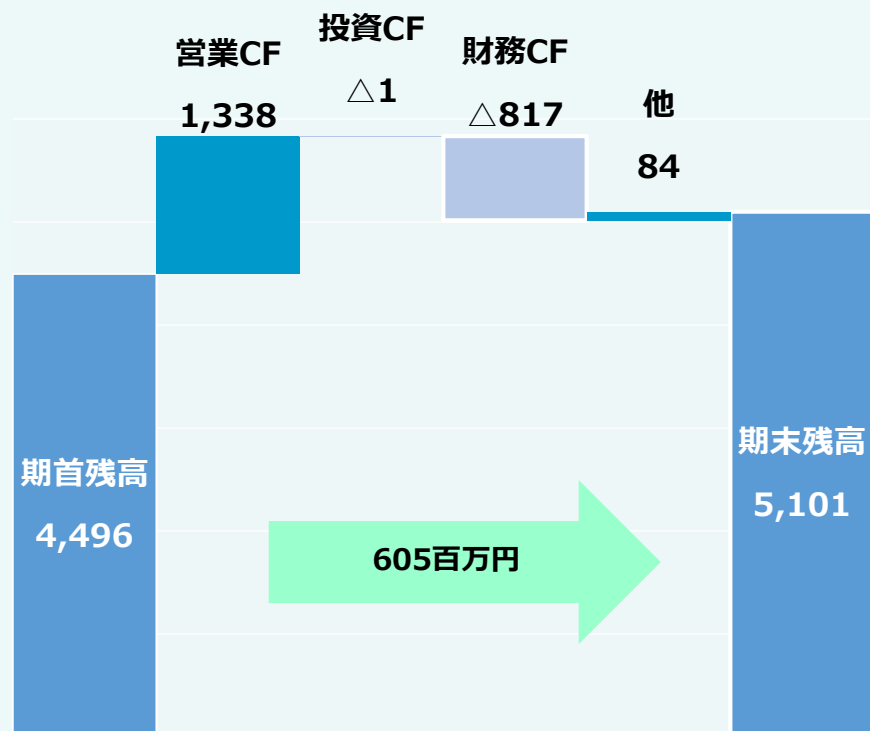
連結キャッシュ・フロー計算書の概要

単位：百万円

2016



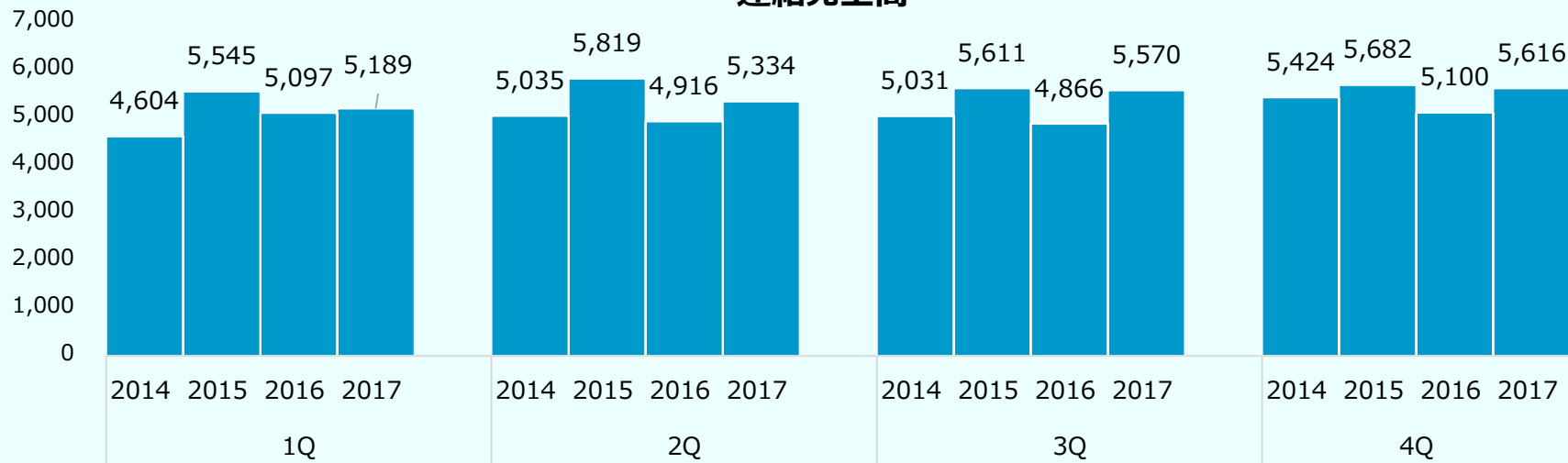
2017



連結売上高と営業利益の四半期別推移

(百万円)

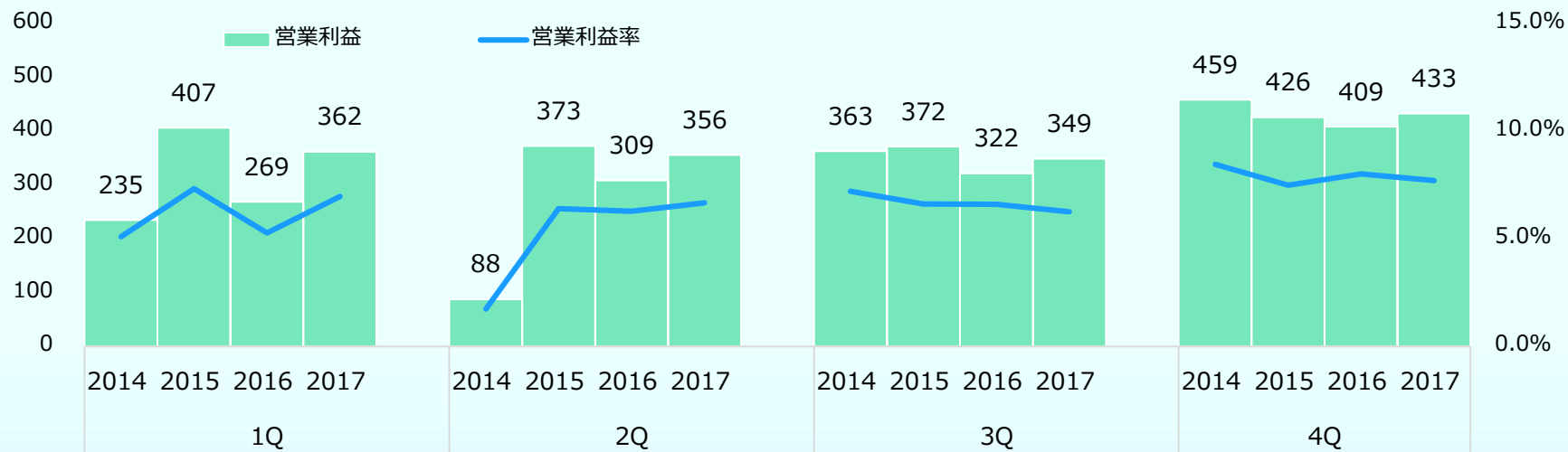
連結売上高



(百万円)

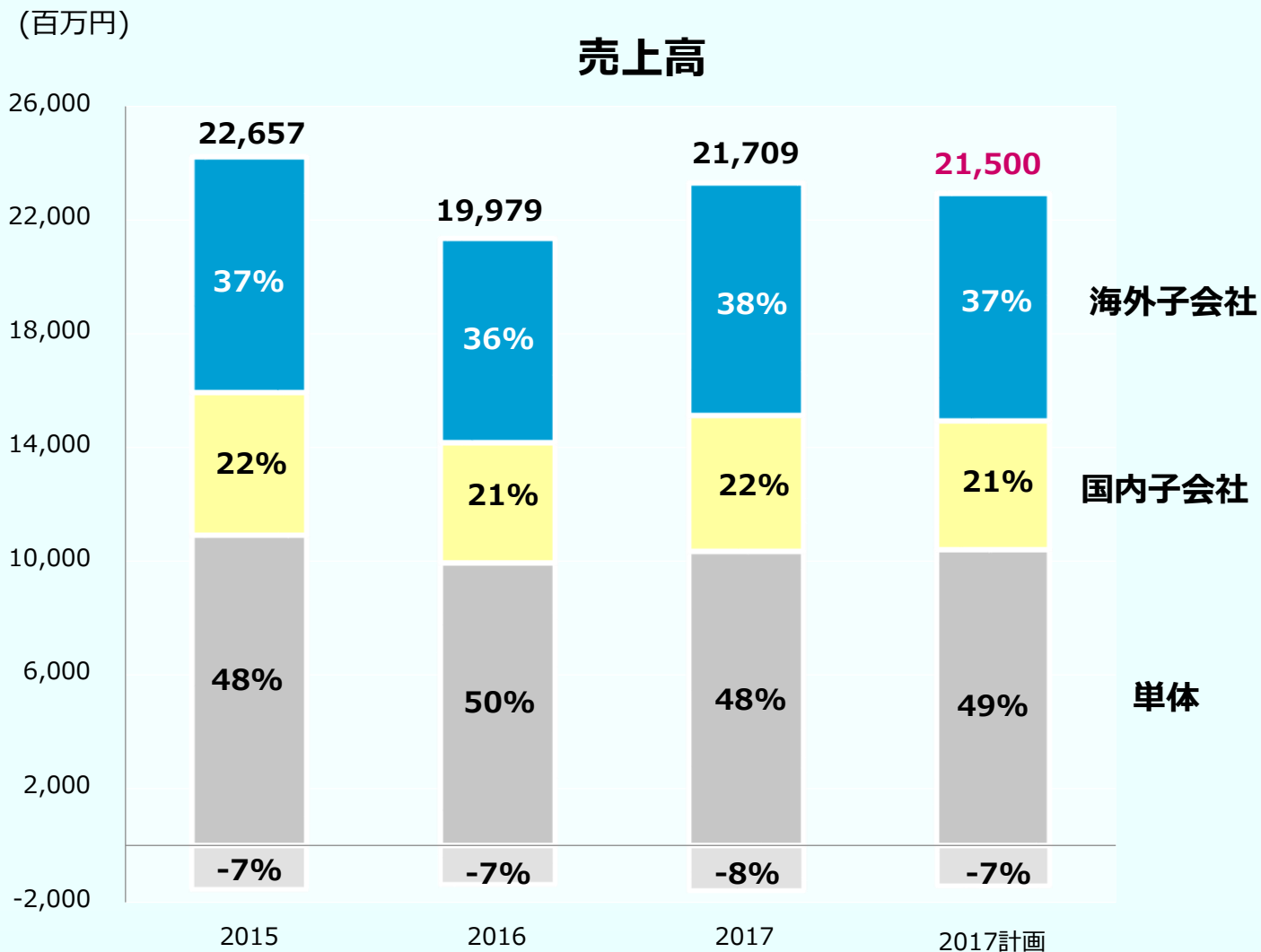
連結営業利益と営業利益率

(営業利益率/%)

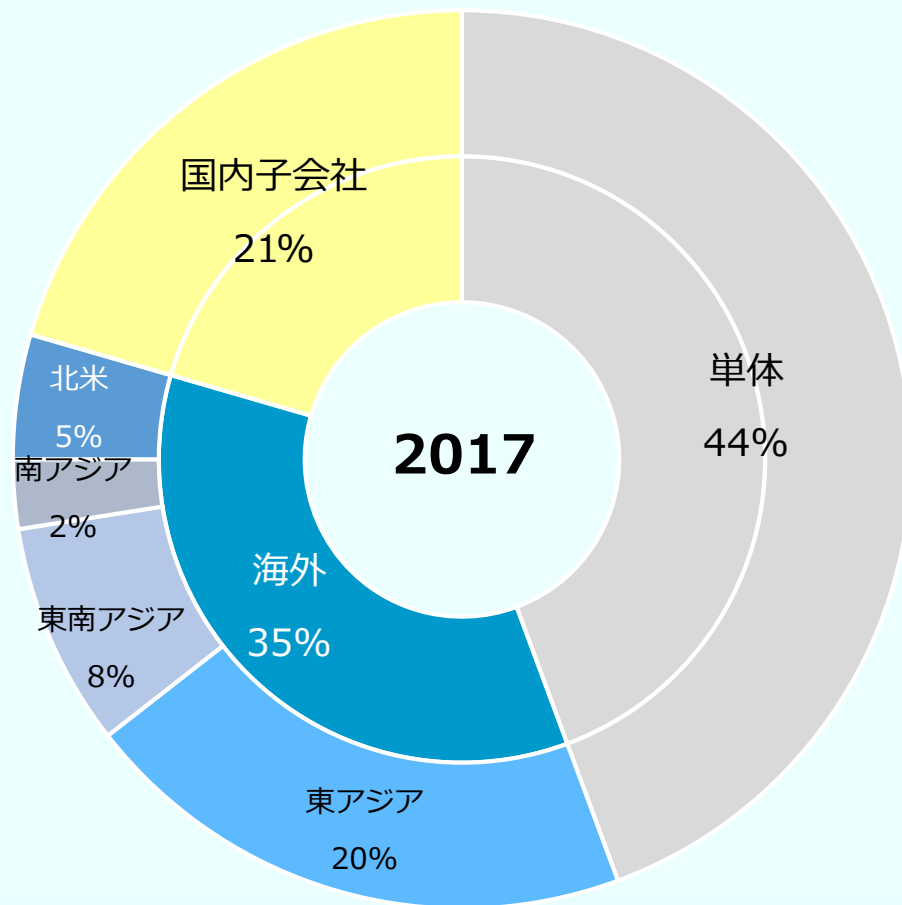
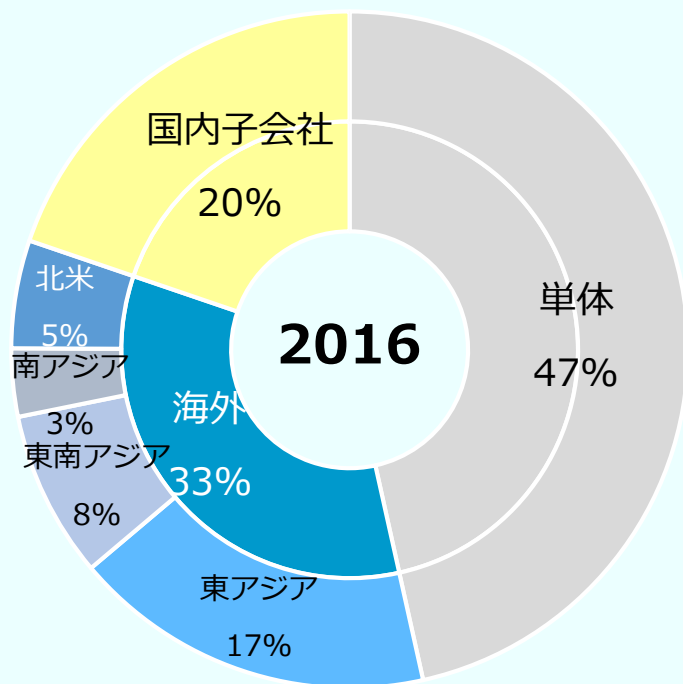


2. グループ別

グループ別の売上推移

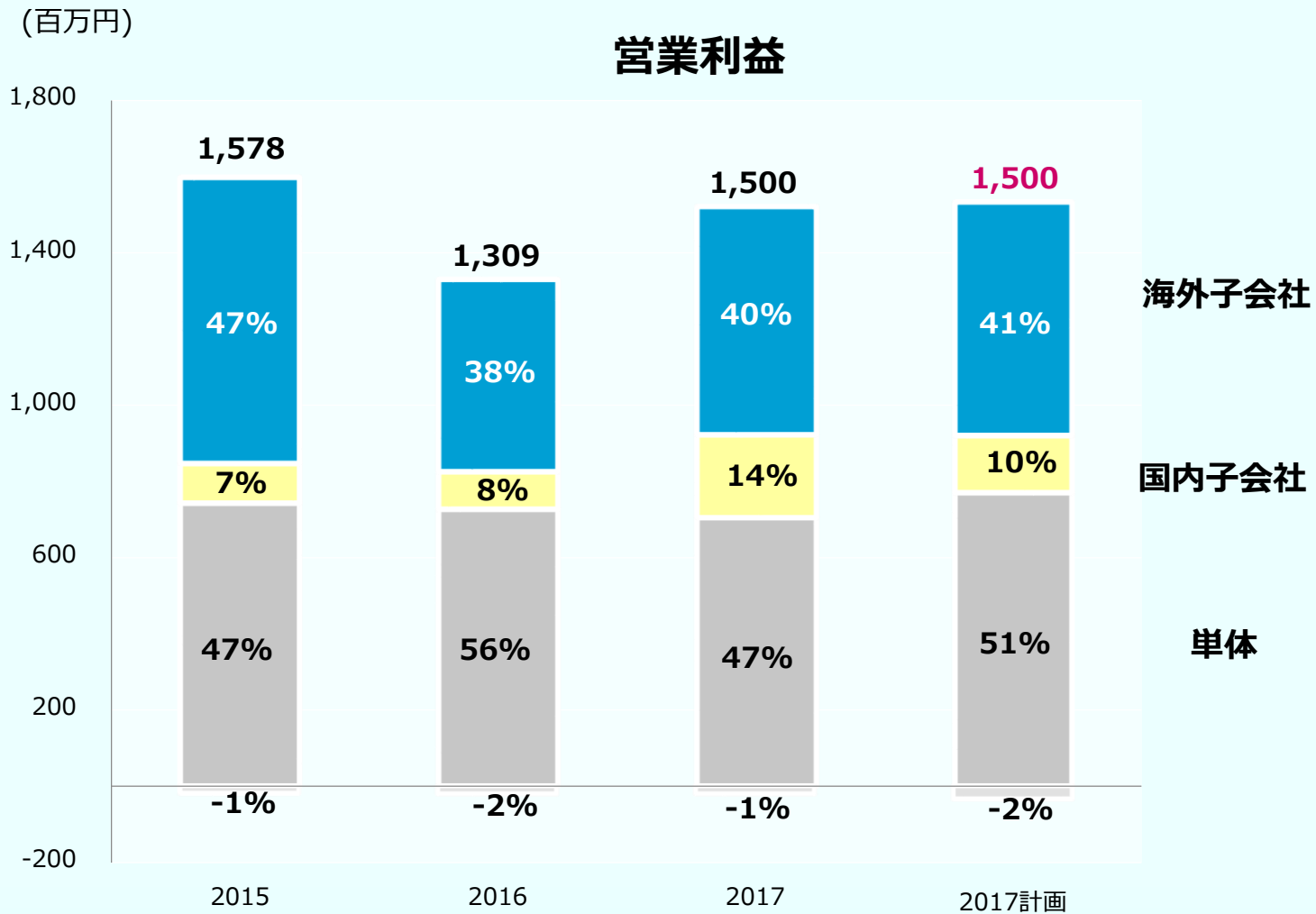


グループ地域別売上シェア



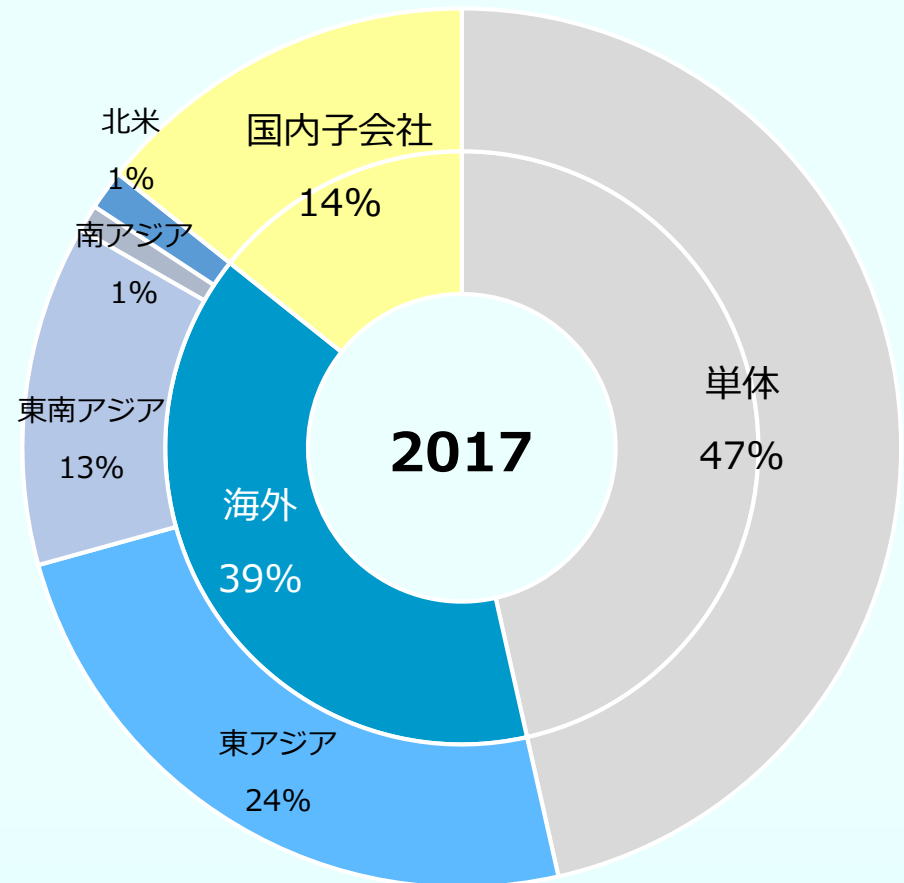
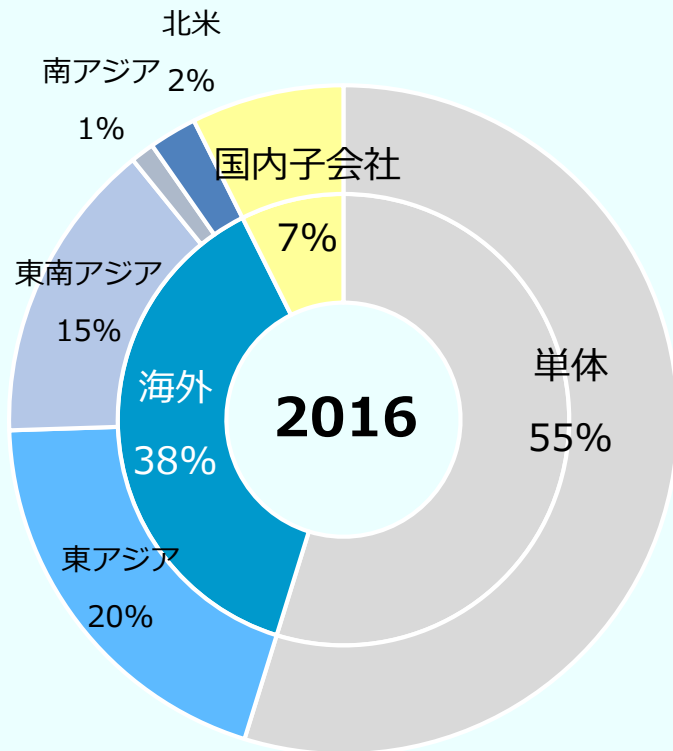
* 内部取引調整前

グループ別の営業利益推移



グループ地域別営業利益シェア

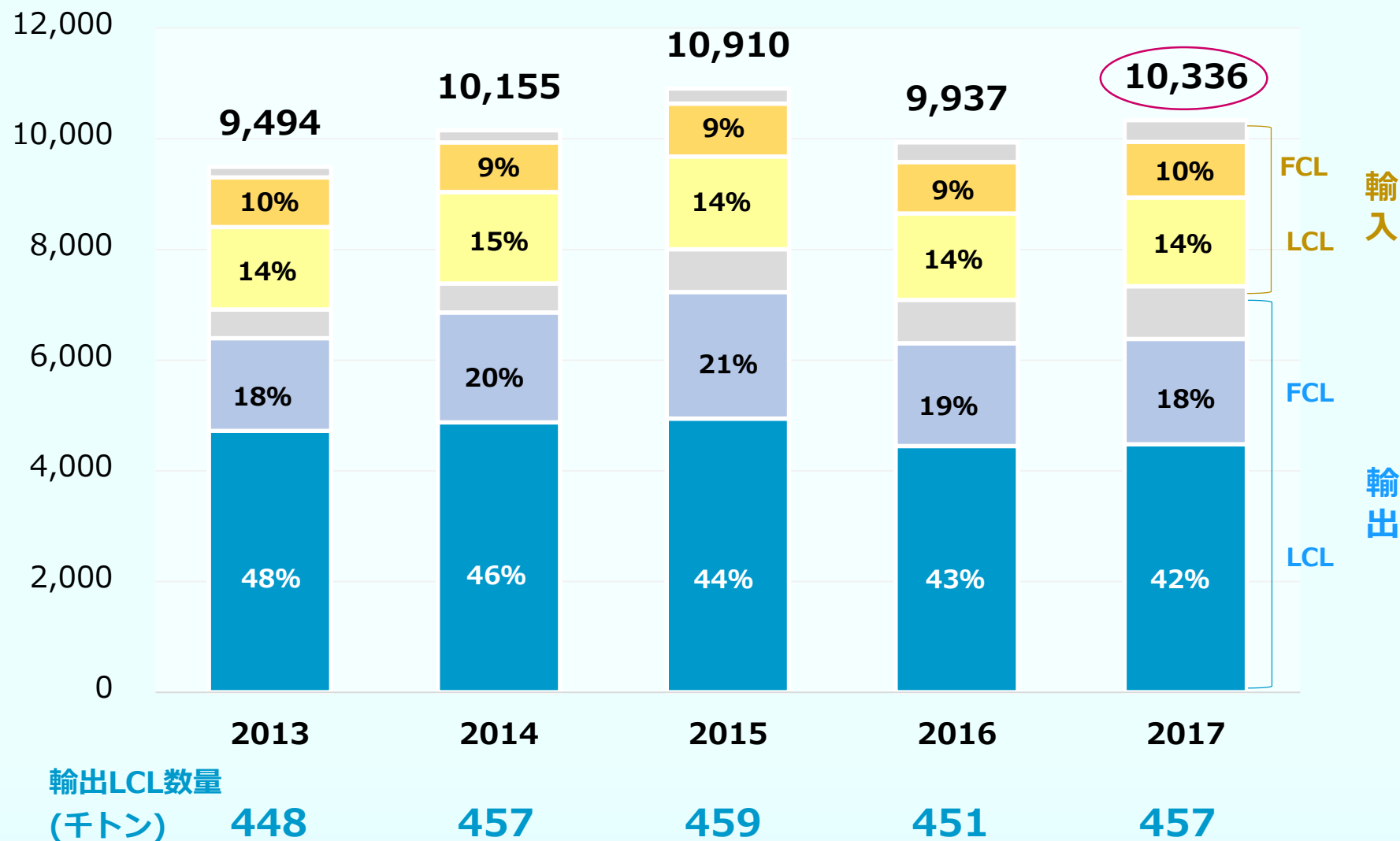
2017年は国内子会社2社及び
釜山倉庫の寄与により増益



* 内部取引調整前

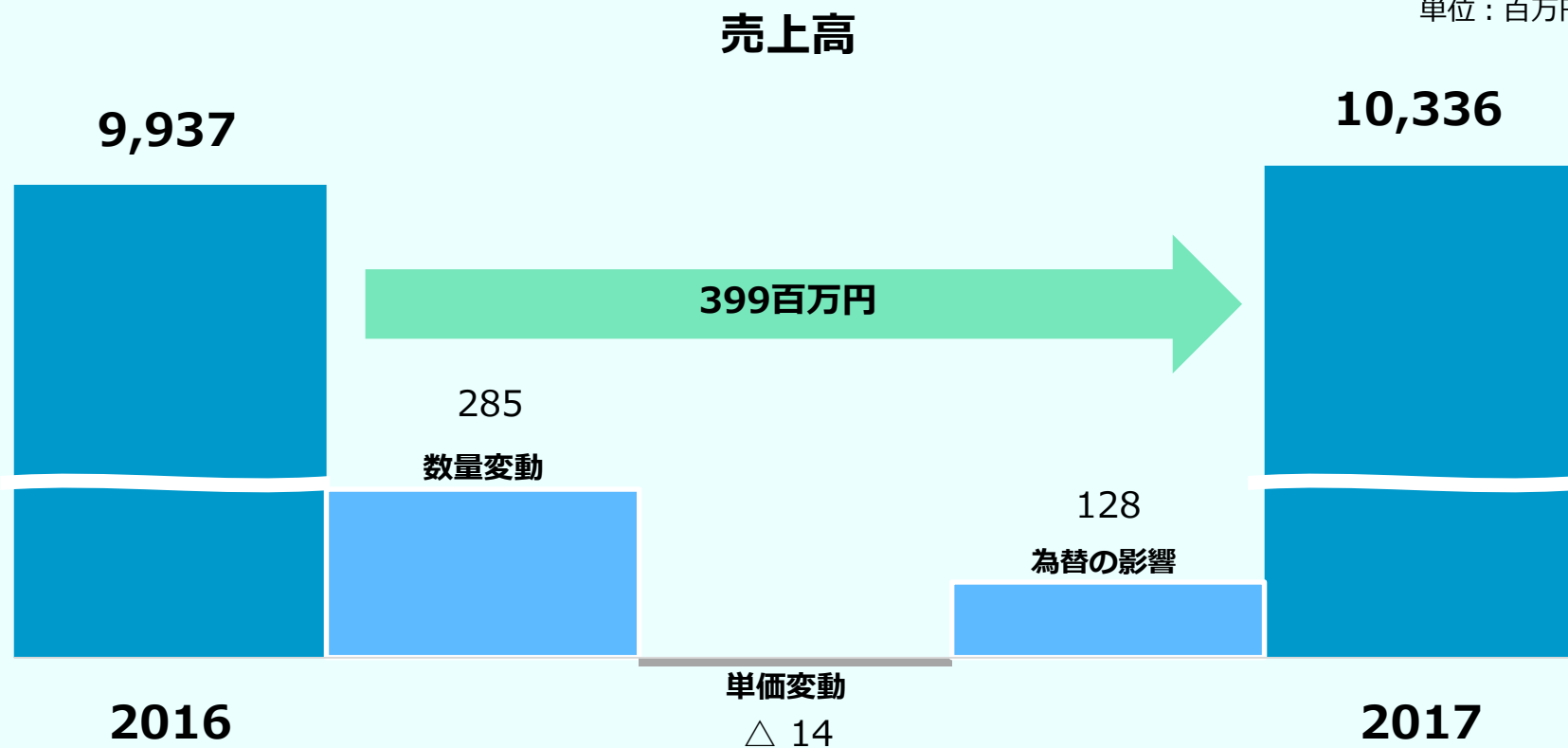
単体のサービス別売上推移

金額：百万円



単体売上高の増減要因

単位：百万円



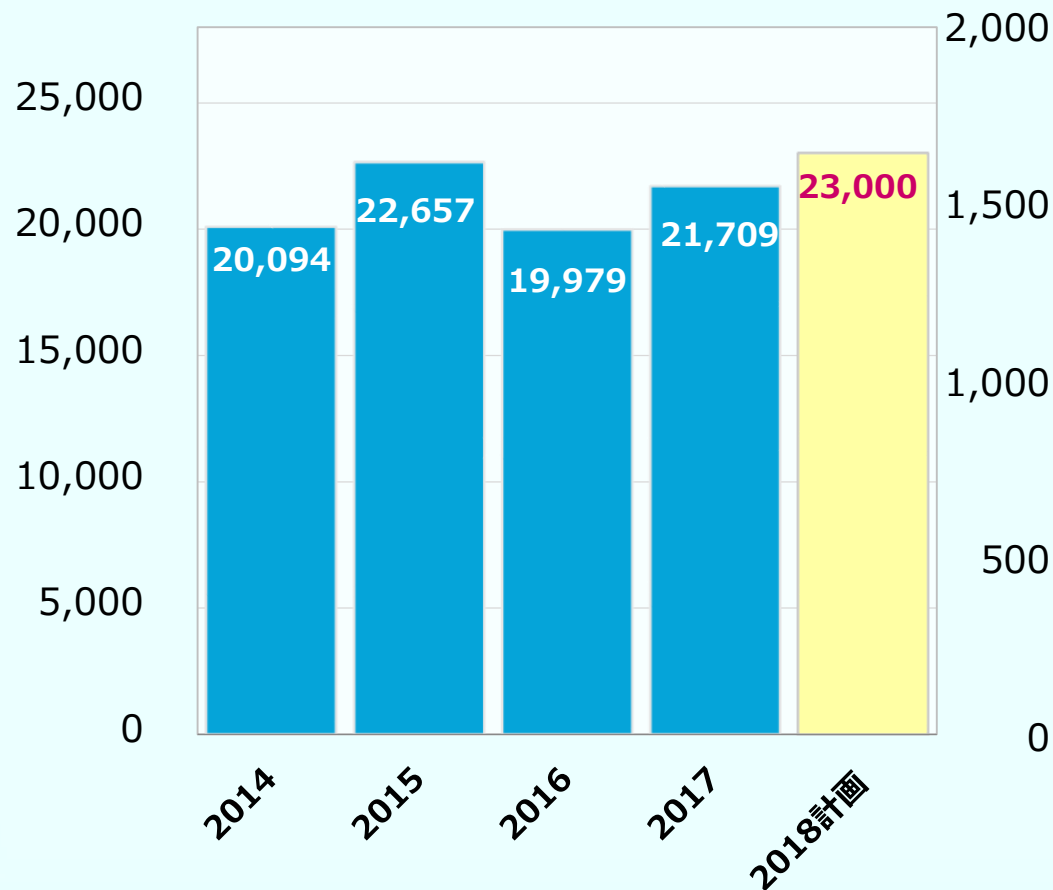
主な変動要因：数量の増加による影響

3. 2018年通期計画等

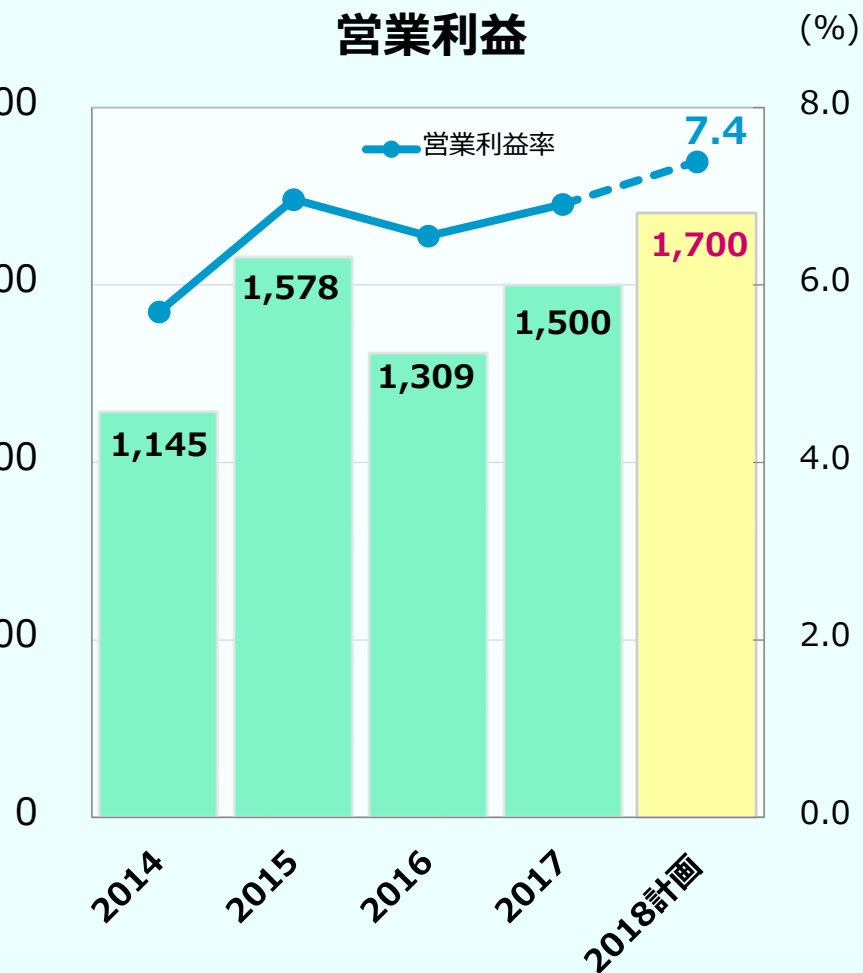
2018年連結業績予想

(百万円)

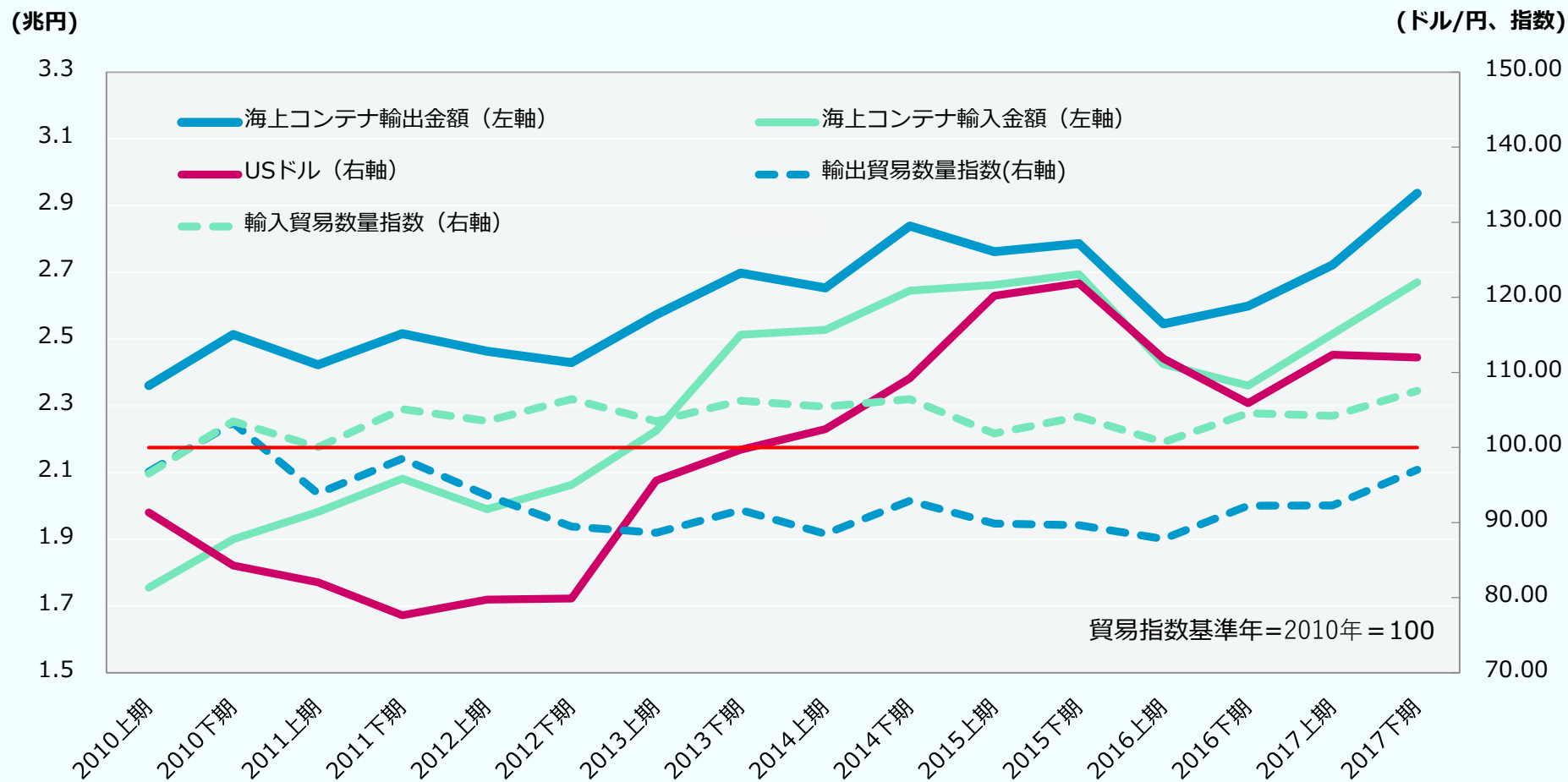
売上高



営業利益

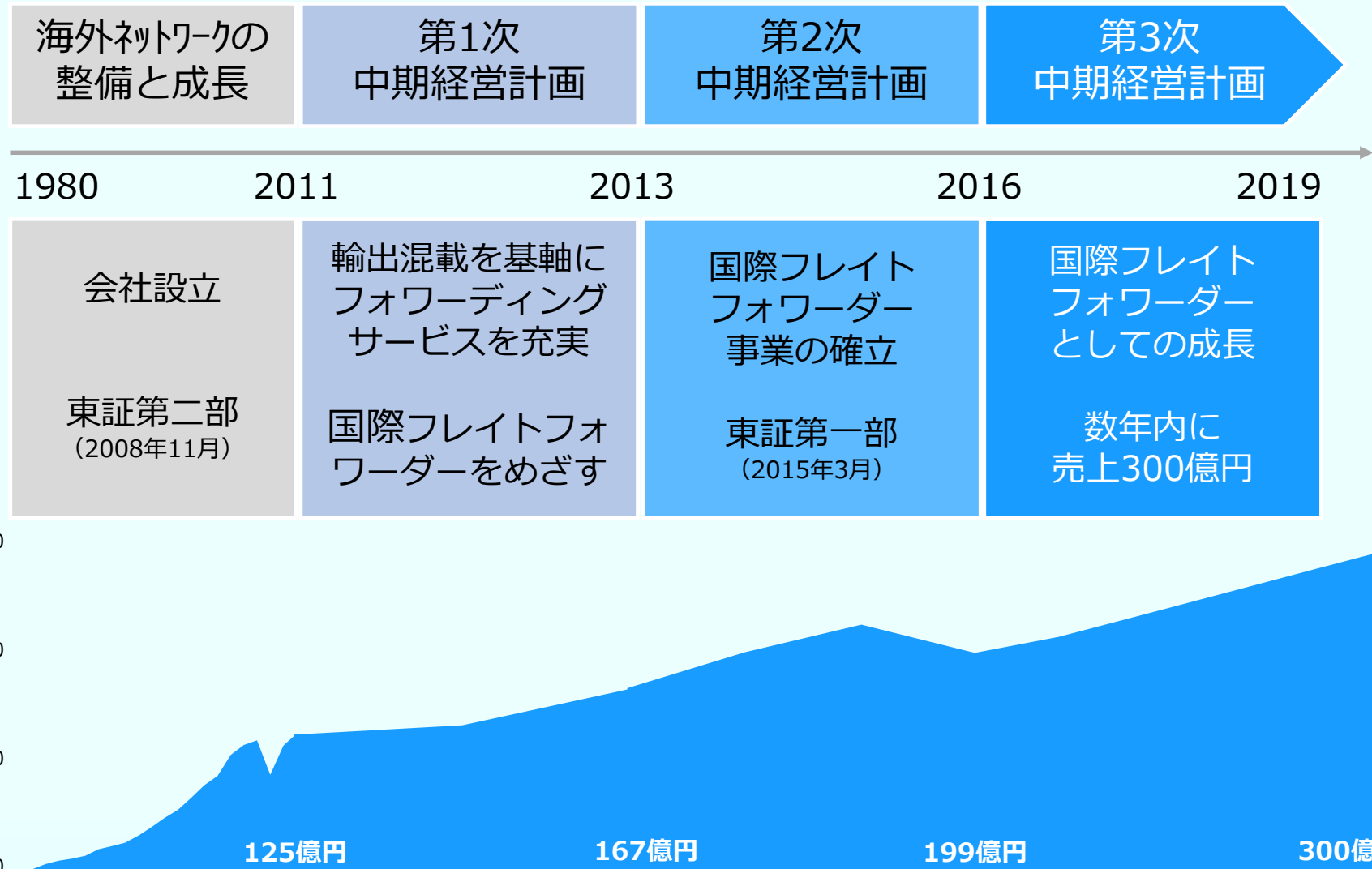


事業環境(輸出入動向とドルレート推移)

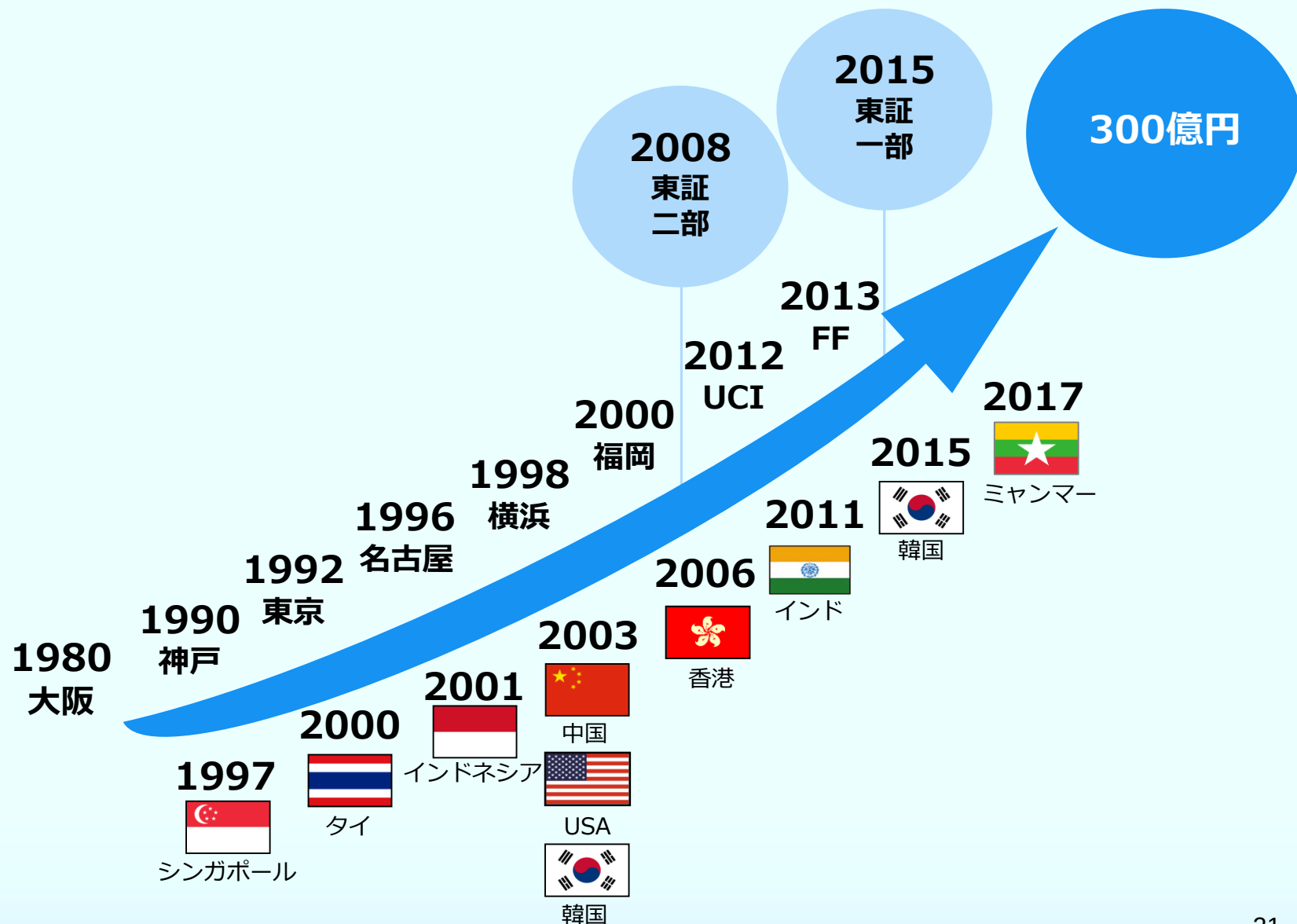


出典：財務省貿易統計他

当社グループの成長と中期経営計画



当社グループ成長の軌跡



2017 TOPICS／新たな事業展開

ミャンマー

国際フォワーダーの子会社化
(2017.8)



日本－ミャンマー間の輸送のみならず当社グループ企業との連携により、更なるグローバル体制の拡大に寄与する

タイ

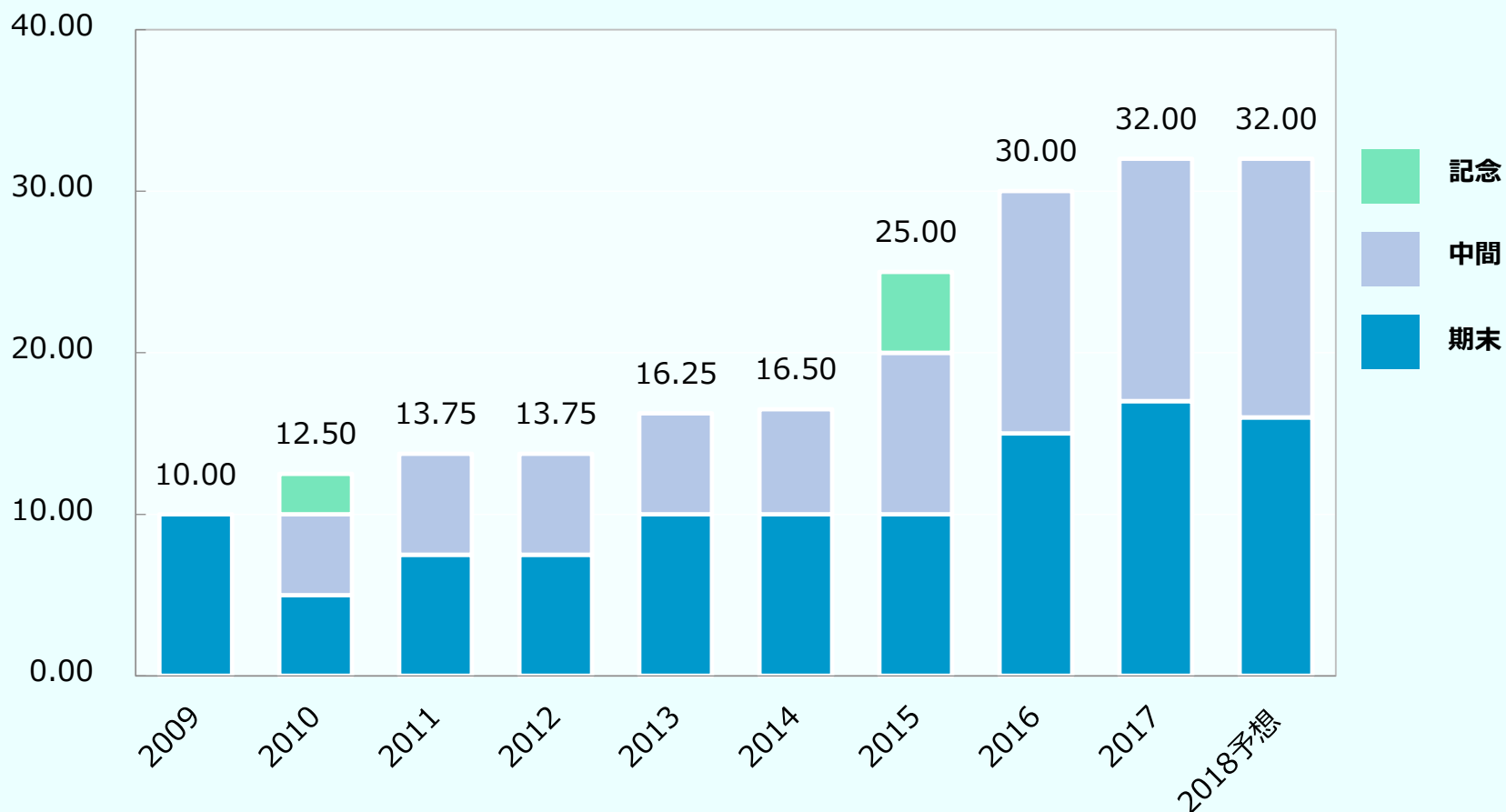
レムチャバン支店開設
(2017.10)



タイ最大の国際貿易港に拠点を置くことで顧客の利便性の向上と、近郊工業団地への営業強化と業容拡充を図る

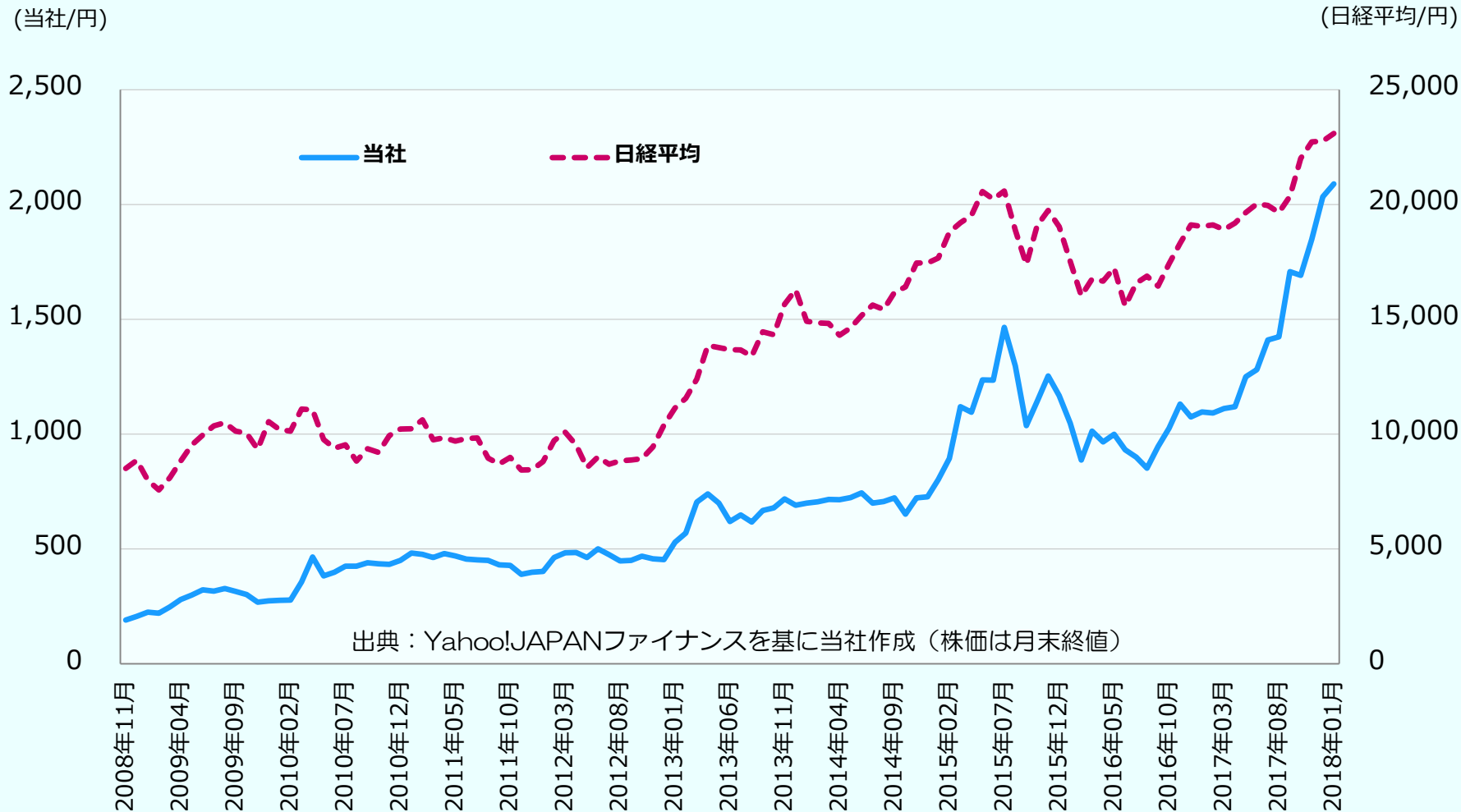
配当金の実績と予想

(配当金/円)



※2012年と2015年6月末日を基準日としてそれぞれ1：2の株式分割を実施、上記金額は分割後配当額にて表示

当社株価の推移



ご清聴ありがとうございました

取締役 IR担当 田中 俊光
三根 英樹

TEL 06-6260-4800

FAX 06-6260-4719

URL <http://www.ntl-naigai.co.jp>



内外トランスライン株式会社

International Freight Forwarder

事業概要

貨物利用運送事業 (国際)

国際総合フレイトフォワード

荷主(企業)からの貨物を預かり、他の業者の運送手段(船舶・航空・鉄道・貨物自動車等)を利用し国際輸送を行う。当社は海上混載輸送を主力としている。

海上混載 (LCL)輸送とは?

複数荷主の複数貨物を1コンテナに混載し輸送することを言います。

例えば神戸港から香港向けに20'コンテナ1本の混載を仕立てる場合、
船会社からの買値：\$150/20'
当社の売値：\$ 15/RT* とすると、
20RT集荷して詰めると：\$15 x 20RT=\$300 (利益\$150)
10RT集荷して詰めると：\$15 x 10RT=\$150 (利益\$0)

貨物量が多く詰められれば収益率が上がります。
また荷主にとって1本のコンテナに満たない物量であれば小口混載を利用することで輸送コストが割安になります。

*Revenue ton=換算トン



NTLグローバルネットワーク

日本 (3社 13拠点)

韓国 (2現法 3拠点)

中国 (2現法 7拠点)

東南アジア (4現法)

インド (1現法 6拠点)

米国 (1現法 3拠点)

グループ売上高シェア(2017年)

国内：65%

海外：35%



プラス海外代理店とのネットワークで
日本の主要港10港から
世界主要国23カ国に向けて毎週230便のサービス!

<業界の動き>

邦船3社(日本郵船、商船三井、川崎汽船)による定期コンテナ船事業の統合会社
「オーシャンネットワークエクスプレス (ONE)」が4月にサービスを開始する